

平成30年度予算見積調書

課室名：農産物安全課
 担当名：有機・安全生産担当
 内線：4057
 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B26	埼玉スマートGAP推進事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業経営普及費	安全安心農産物確保対策費		
事業期間	平成26年度～平成32年度	根拠法令	なし				宣言項目 分野施策	020413 食の安全・安心の確保		
1 事業の概要 県産農産物の安全に対する信頼性の向上を図るため、県独自のGAP（S-GAP）の仕様改定等を行い、担い手の拡大を推進する。 (1) GAP普及事業 5,735千円 (2) S-GAPアップデート事業 1,768千円 (3) S-GAP評価事業 4,344千円 (4) 民間GAP認証取得支援事業 8,000千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア GAP普及事業 (ア) S-GAP普及事業 3,972千円 S-GAP普及のため、農業者への推進ときめ細やかな指導を行う。 ・GAP情報交換会、地区説明会の開催 ・S-GAP指導者による農場指導 ・S-GAP実践者と流通・小売業者等によるブランド構築支援 (イ) 民間GAP指導者育成事業 1,763千円 外部研修会に参加し、民間GAPの指導者を養成する。 イ S-GAPアップデート事業 1,768千円 S-GAP仕様の改定を行う。 (ア) S-GAP検討委員会の開催（計2回、委員11名） (イ) S-GAP実務者会議の開催（計3回） ウ S-GAP評価事業 4,344千円 農場評価により、S-GAP実践農場を認証する。 (ア) S-GAP評価制度の運用と評価員・点検者の養成 (イ) S-GAP評価支援システムによる、S-GAP実践農場の認証 ・S-GAP評価員による農場評価、S-GAP点検者による評価点検 エ 民間GAP認証取得支援事業 8,000千円 コンサルタント費用や審査費用等の経費を補助し、農業者のGAP認証取得を支援する。 (2) 事業計画 S-GAPの普及、S-GAPの仕様改定、S-GAP評価及び実践農場認証 【目標】年間400戸の農場認証を行う。（5年間で1,600戸の認証） (3) 事業効果 GAP普及率が上昇することにより、県産農産物の安全性が向上する。 県産農産物のイメージ向上が消費者へのPRとなり、生産者がGAPに取り組むメリットとなる。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) ア(ア)、イ、ウ (国10/10) ア(イ)、エ										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.6人=24,700千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	19,847	国庫支出金	9,763						10,084	7,086
前年額	12,761								12,761	